

川崎病罹患児の追跡調査（予報）

（分担研究：川崎病に関する研究）

川崎富作*，大川澄男*
柳川 洋**，中村好一**

要約：川崎病研究班では川崎病罹患児の追跡調査を進めている。協力が得られた53医療機関を受診した約4,700名を計画している。本年度は実施要領の作成，各医療機関での実施上の問題点の検討，対象者のコンピュータへの入力などを行い，来年度早々に調査を実施する予定である。

見出し語：川崎病，追跡調査，死亡，心後遺症

【目的】

川崎病患者の致命率は年々低下していることが全国調査の結果から判明している。川崎病は病理学的には全身の血管炎であるが，乳幼児期にこのような血管炎をおこした者が，将来動脈硬化や虚血性心疾患を起こしやすくなっているか否かは明らかではない。川崎病罹患児の追跡調査は医療機関単位ではいくつか実施されているが，その多くは当該医療機関を定期的を受診している罹患児の追跡であり，罹患児全員を対象とした追跡は実施されていない。

本研究は川崎病全国調査で報告された患者を医療機関単位で全員追跡し，川崎病罹患児の長期予

後を明らかにすることを目的として実施している。

【対象と方法】

第8回から第10回の川崎病全国調査で報告された患者（初診年月日：1982年7月1日～1988年12月31日）で，第14病日以内に当該医療機関を受診した確実例かつ初発例（再発例は除く）とした。追跡は医療機関単位で行い，偏りが起こらないように，当該医療機関で追跡対象の条件に当てはまる患者すべてを追跡対象とした。追跡の開始は初診日，追跡の終了は1989年12月31日または死亡年月日とした。

追跡は対象者を①死亡群（医療機関で死亡が確

* 日本赤十字社医療センター小児科 Department of Pediatrics, Japan Red Cross Medical Center

** 自治医科大学公衆衛生学教室 Department of Public Health, Jichi Medical School

認されている者), ②受診予定群(1990年1年間に当該医療機関の受診が予定されている者), ③予定なし群(①, ②に該当しない者)の3群に分けて行う。①死亡群では死亡診断書(写)を入手して終了する。②受診予定群では1990年1年間で最初に受診した際に, 主治医が受診確認票を作成し, これにより追跡終了日までの生存の確認をおこない, さらに現在の運動制限状況などの情報入手する。③予定なし群では医療機関より調査票を自宅へ郵送し, 返信によって現在の状況を確認する。

【現在の状況】

追跡のための実施要領を作成した。協力が得られる医療機関が53施設登録されている(資料参照)。追跡対象者は4,664名, 観察人年は約20,000人年を予定している。川崎病全国調査のデータベースに

患者の住所を入力中で, これが終了した後に各医療機関へ患者のリストを送付し, それぞれについてどの群に属すかを明らかにし, それぞれの追跡を開始する予定である(1990年度)。

【解析の方法】

各対象者について死亡の有無を確認し, 死亡者については死亡診断書より死亡原因を明らかにする。また, 人口動態統計を用いて全国の死亡状況の比較を行う。

【今後の方針】

将来的に今回対象となった集団の追跡を行う予定である(4年毎をめぐりに)。また, 今後実施される全国調査をもとに, 対象の拡大を行う予定である。

Abstract

Follow-up study of patients with Kawasaki disease (Preliminary report)

Tomisaku Kawasaki*, Sumio Okawa*, Hiroshi Yanagawa** and Yosikazu Nakamura**

A follow-up study of patients with Kawasaki disease is performed as a project study of the Kawasaki Disease Research Committee. About 4,600 patients in 53 hospitals are enrolled in this study and mortality rate will be observed in this year.

資料 川崎病罹患児追跡調査 参加施設（予定を含む，順不同）

I. 研究協力者関係 26施設

北海道大学医学部小児科
山形大学医学部小児科
自治医科大学小児科
東京大学医学部小児科
東京医科歯科大学小児科
都立墨東病院小児科
日赤医療センター小児科
東京慈恵会医科大学小児科
東京女子医大第二病院小児科
日本大学医学部板橋病院小児科
聖マリアンナ医科大学小児科
静岡県立こども病院循環器科
名古屋大学医学部小児科
京都第二赤十字病院小児科
国立循環器病センター小児科
近畿大学医学部心臓小児科
神戸市立中央市民病院小児科
明和病院小児科
和歌山県立医科大学小児科
倉敷中央病院心臓病センター小児科
社会保険広島市民病院小児科
松山赤十字病院小児科
久留米大学医学部小児科
小倉記念病院小児科
産業医科大学小児科
宮崎県立宮崎病院小児科

II. 研究協力者の関連病院など 27施設

国立函館病院小児科
日鋼記念病院小児科
旭川市立病院小児科
函館中央病院小児科
伊達赤十字病院小児科
山形市立病院済生館小児科
聖マリアンナ医科大学東横病院小児科
耳原総合病院小児科
大阪市立桃山病院小児科
箕面市立病院小児科
東大阪生協病院小児科
西淀病院小児科
兵庫県立西宮病院小児科
尼崎生協病院小児科
広島赤十字・原爆病院小児科
マツダ（株）マツダ病院小児科
広島市立安佐市民病院小児科
尾道総合病院小児科
国立福山病院小児科
厚生連府中総合病院小児科
三菱三原病院小児科
中国労災病院小児科
済生会今治病院小児科
九州厚生年金病院小児科
聖マリア病院小児内科
大牟田市立病院小児科
飯塚病院小児科



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:川崎病研究班では川崎病罹患児の追跡調査を進めている。協力が得られた 53 医療機関を受診した約 4,700 名を計画している。本年度は実施要領の作成,各医療機関での実施上の問題点の検討,対象者のコンピューターへの入力などを行い,来年度早々に調査を実施する予定である。